

東京YMCA南コミュニティーセンター

新型コロナウイルス感染症予防についての対応

(東京YMCA南コミュニティーセンター新型コロナウイルス対策および実施についてのガイドラインより抜粋)

当センターでは、プログラムを開始するにあたって、3つの密を避け、換気・除菌・消毒の工夫をしながら以下の対応をしていきます。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

1. 実施要件

- 緊急事態宣言が解除され、及び自粛要請に該当しないプログラムであること。

2. ご協力依頼

- 参加者本人及び同居者に以下の症状がある場合は参加をお控えください。
1) 発熱 2) 倦怠感 3) 呼吸器の症状(息苦しさ) 4) 喉の痛み 5) せき
6) 味覚・臭覚がない 7) 新型コロナウイルスの症状にあてはまるもの
- 発熱し熱が下がった日から4日以内においても参加をお控えください。また、熱が2日以上続いた場合は、医療機関等に相談し、医療機関からの参加の承諾を得るようにお願いいたします。
- 参加者本人に過去2週間以内に海外への渡航歴がある場合は参加をお控えください。
- 来館時に必ず手洗い、消毒をお願いいたします。
- 館内では社会的距離が保てるようご配慮ください。
- マスクの着用をお願いいたします。(乳幼児や特別な事由がある場合を除きます。)
- 館内での飲食はご遠慮ください。
- ゴミの持ち帰りにご協力ください。
- 基礎疾患や既往症がある場合は、十分に注意をしてください。

3. 職員・施設等の対応

- スタッフの体調管理を徹底して行ないます。発熱及び風邪の症状がある場合は出勤いたしません。同居者に同様の症状がある場合も同じとします。
- 手洗い、うがい、消毒を徹底し、感染予防のためマスクを着用いたします。
- 過去2週間以内に海外への渡航歴のある職員は出勤を控えます。
- 館内の定期的な換気、消毒、除菌に努めます。

4. 体調不良・感染者が出た場合の対応

- 体調不調の症状がある場合は、他の人と接触しないようにAルームもしくはロビースペースにて待機していただきます。
- プログラム参加後、数日以内に新型コロナウイルス感染症の発症もしくは可能性のある症状がありましたら、南コミュニティーセンターまでその旨お知らせください。
- スタッフを含む、館内利用者で感染者が出た場合には、感染者の来館頻度、滞在時間に応じてプログラムの休講、休館になる場合もございます。保健所などの指示に従って対応いたします。
また、濃厚接触の可能性のある方にご連絡いたします。感染拡大防止の観点のみでのお知らせですので、感染者が特定されないように個人情報には十分留意いたします。

※この「新型コロナウイルス感染症予防についての対応」は、状況によって内容の追加なども想定されます。更新された場合には、その都度、お知らせしていきます。一緒に感染予防に努めてまいりましょう。